

市民アンケート

2019年11月26日～28日、ウェールズ代表キャンプの実施等について、18歳以上の市内居住者を対象にインターネットアンケートを実施した(有効回答数1086)。

※協力:北九州市立大学 南博 教授

ラグビーワールドカップ2019日本大会の認知		
	度数	%
TOTAL	1,086	100.0
知っている	1,028	94.7
知らなかった	58	5.3

北九州市でのウェールズ代表によるキャンプ実施の認知		
	度数	%
TOTAL	1,086	100.0
知っている	772	71.1
知らなかった	314	28.9

北九州市でウェールズ代表がキャンプ・公開練習を行ったことに対する評価		
	度数	%
TOTAL	772	100.0
とても良かった	444	57.5
ある程度良かった	228	29.5
どちらとも言えない	93	12.0
あまり良くなかった	4	0.5
全く良くなかった	3	0.4

報道やSNS投稿に接したことを通じた自身のシビックプライドの変化		
	度数	%
TOTAL	280	100.0
シビックプライドが非常に高まった	64	22.9
シビックプライドがある程度高まった	109	38.9
シビックプライドについて特に変化はなかった	87	31.1
わからない	20	7.1

北九州市とウェールズとの今後の交流についての考え		
	度数	%
TOTAL	1,086	100.0
ラグビーにとどまらず、文化芸術・教育・ビジネスなど、様々な分野での交流を期待したい	736	67.8
ラグビーに特化した交流を続けていくべき	86	7.9
今後は積極的に交流を行う必要はない	34	3.1
わからない	230	21.2

キャンプ実施、都市装飾、今後の交流等について、肯定的な回答が7割から9割近くとなり、今回の取組みが多くの市民から高く評価されていることが分かった。

← 約30% up

※2019年3月上旬に実施の調査結果		
	度数	%
TOTAL	1,045	100.0
知っている	688	65.8
知らなかった	357	34.2

← 約50% up

※2019年3月上旬に実施の調査結果		
	度数	%
TOTAL	1,045	100.0
知っている	222	21.2
知らなかった	823	78.8

期間限定の歓迎の都市装飾を行うことについての考え		
	度数	%
TOTAL	1,086	100.0
とても良かった	372	34.3
ある程度良かった	408	37.6
どちらとも言えない	289	26.6
あまり良くなかった	13	1.2
全く良くなかった	4	0.4

※「北九州市でのウェールズ代表によるキャンプや公開練習、新聞広告掲載などに関する報道や、SNSでの投稿に接することがあったか」という設問に対し「接することがあった」と回答した280名による回答

WRUからの応援メッセージ

世界的にコロナウイルスが拡大している状況や、ウェールズ代表と日本代表のテストマッチ(静岡県)とWRUによる本市での交流プログラムが中止となったことを踏まえ、2020年6月、WRU関係者から北九州市民を元気づけようと応援メッセージ動画が届いた。



<https://www.youtube.com/watch?v=l2ML-3grZEo>

トピックス

北九州スタジアム(ミクニワールドスタジアム北九州)

北九州スタジアムは、「市民に夢と感動を!子どもに元氣と目標を!まちに誇りとにぎわいを!」をキャッチフレーズに整備された、天然芝仕様、15,300名収容のスタジアムである。

2010年11月に整備の基本方針を公表、2012年8月に具体的な整備方針を公表、2015年4月に着工し、2017年1月29日に完成した。愛称である「ミクニワールドスタジアム北九州」は、ネーミングライツで2016年12月に決まった。

特長として、「海ちか・街なかスタジアム」(小倉都心部に立地)。新幹線駅からの近さが日本一(直線距離500m、徒歩約7分)。日本初の海に隣接するスタジアム(Jリーグのホームスタジアム中)、「ダイナミックスタジアム」(タッチラインからスタンド最前列まで約8mと近く、最前列はピッチからわずか約65cmの高さなので、臨場感を味わえる)などがある。

サッカーJリーグやラグビートップリーグなどトップクラスの試合のほか、市民のスポーツ大会、コンサートなど各種イベントにも活用されている。RWC2019におけるウェールズ代表キャンプのほか、サンウルブズのプレシーズンマッチ、ワールドラグビー女子セブンズシリーズといったラグビーの国際試合も開催されている。

サッカーJリーグやラグビートップリーグなどトップクラスの試合のほか、市民のスポーツ大会、コンサートなど各種イベントにも活用されている。RWC2019におけるウェールズ代表キャンプのほか、サンウルブズのプレシーズンマッチ、ワールドラグビー女子セブンズシリーズといったラグビーの国際試合も開催されている。



代表チームに最適なトレーニング環境を提供

2019年9月のウェールズ代表キャンプでは、最適なトレーニング環境を提供できるよう、アスリートファーストの観点から、組織委員会やWRUと協議しながら準備を進めた。

キャンプ関連施設は、RWCの厳しい基準を満たすものとして、①屋外トレーニング施設(練習グラウンド):スタジアム、②屋内トレーニング施設:西日本総合展示場・本館中展示場、③ジム:スタジアム、④プー

ル(リーガロイヤルホテル小倉内)、⑤宿泊施設:リーガロイヤルホテル小倉となった。

練習グラウンド

練習グラウンドの天然芝は、キャンプの中で最も重要となるため、特に入念に準備した。組織委員会の現地調査は、2017年6月から2019年8月まで合計4回行われ、「全体的に素晴らしく、キャンプ実施に向

けて問題ない」との評価を得た。最終調査の1か月前となる2019年6月には、芝を最高の状態にしておくため、筋植え作業（補植作業）を実施した。



芝の調査



筋植え作業

9月6日には、公認キャンプ地の基準を満たすために、「ミクニワールドスタジアム北九州」などスタジアム内の商標全てにマスキングを施した。

練習グラウンドのライン引き、ゴールポスト、テントなど必要な設備は、9日までに概ね完了した。また、大会組織委員会から、ボール、タックルバッグ、タックルマシンなど大量のトレーニング備品が搬送された。

代表チームが到着してすぐ（9月14日午後）、一部の選手やコーチ等がスタジアムでトレーニング施設の最終確認を行った。一同、芝生のコンディションや施設の充実ぶりに感嘆の声を上げ、大変満足した様子であった。



屋内トレーニング施設

屋内トレーニング施設については、当初西日本総合展示場・本館中展示場内に設置する予定であったが、WRUからの要望でスタジアム内に設置した。

ジム

ジムは、スタジアムの記者会見室に仮設で設置した。記者会見室は、サンウルブズのキャンプ（2018年2月）でも仮設ジムとした経験があったため、今回の要望にスムーズに対応できた。マシンについては、非常に負荷の高いものを用意する必要があったため、大会組織委員会を窓口として、他のキャンプ地と共同でリースした。



スール

プールについては、タトゥーを入れている選手が多いため、他の一般利用者との調整が必要となった。この課題について、北橋市長も含め、国や組織委員会と協議した。また、プールを管理するリーガロイヤルホテル小倉にも、キャンプ期間中のタトゥーを入れた選手の利用に関する要望書を送った。協議の結果、利用レーンを分けるなどの条件で、一応の解決となった。

宿泊施設

ホテルは、監督、コーチ、選手、スタッフなどに応じた部屋の確保、チームルームとなる宴会場等を手配した。チーム専属シェフの食事への関与、ユニホーム等を洗濯するためのランドリー業者への受け渡しと仕上りの時間、ミーティング等のためのモニターやホワイトボードなどの備品、選手の余暇のための卓球台の設置など、代表チームからの様々な要望に対応した。

他の大会やキャンプ

本市は、北九州市スポーツ振興計画において、「スポーツによるまちの活性化」を政策に掲げ、様々な国際スポーツ大会やキャンプの誘致に取り組んでいる。

ラグビーでは、北九州スタジアムを活用し、サンウルブズのプレシーズンマッチ・キャンプ、ワールドラグビー女子セブンズシリーズ、トップリーグ等を開催してきた。

こうした取組みは、日本ラグビー協会・組織委員会といった中央団体との良好な関係構築、北九州ラグビー協会など地元団体との協力関係の深化、大会・キャンプの実績づくり・ノウハウ蓄積などの効果ももたらした。またトップレベルの試合開催を通じて着実にラグビーファンを増やすことができ、RWC2019キャンプの成功に大きく寄与した。

サンウルブズ

サンウルブズは、ラグビーの世界最高峰リーグ「スーパーラグビー」に参戦する日本のチームで、2016年から2020年まで同リーグで活躍した。

2017年2月18日、スタジアムのオープニングイベントとして「ジャパンラグビードリームマッチ2017」が開催された。試合を待ちわびた約1万2千人の市民が客席を埋め、「サンウルブズ」と国内トップリーグ選抜の対戦に熱い声援を送った。試合は、24-12で「サンウルブズ」が競り勝った。



またサンウルブズは、試合前の2月12日から18日まで、本市でキャンプを行った。キャンプ期間中、ラグビー教室、病院訪問、市長表敬訪問、北九州出身の山田章仁選手のトークショー、学校訪問等の市民交流を実施した。

サンウルブズは、翌2018年2月にも本市でプレシーズンキャンプを実施した。公開練習、ラグビー教室、

病院訪問、サイン会、トークショー、学校訪問などを行い、市民と交流を図った。

また2020年1月25日、「北九州ラグビーフェスティバル」が開催された。サンウルブズとチャレンジパーリアンズ（トップチャレンジリーグ所属選手等で編成される特別チーム）との対戦で、81-28でサンウルブズが勝利した。試合に先立ち、トークショー、市長表敬、学校訪問、チャリティイベント等を実施した。



ワールドラグビー女子セブンズシリーズ

2017年4月、2018年4月、2019年4月と、3年連続で女子7人制ラグビーの国際大会「ワールドラグビー女子セブンズシリーズ」がスタジアムで開催された。ワールドラグビー公認の国際大会で、12か国の代表チームが世界を転戦する。同シリーズの日本での開催は初めてであり、スタジアムにとって初の国際大会となった。

観客数は、1回目が約4千人、2回目が6千人、3回目が1万人と回を重ねることに増え、ラグビーファンを増やしていった。

また、大会前の代表チームによる学校訪問、大会中の小中学生招待観戦、RWC2019キャンプ関連自治体との連携（応援ツアー、PRブース等）、大会後のフェア



ウェルパーティーといった選手へのおもてなし等を行った。